事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	廃棄物減量対策事業					事業通番	5037
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--
	施策No.	1-1	施策名	自然・生活環境の保全		担当課名	町民税務課
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	清掃総務費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	循環型社会形成推進基本法 会津美里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例
事務事業の概要	循環型社会の実現に取り組んでいくために、廃棄物等の発生抑制、資源の循環的な利用、適正な処分を促進し、廃棄物減量に努める。 【主な取組】令和７年度は、こども服リユースコーナーやスポーツ用品リユース展示場の運営、生ごみ処理機等購入支援、資源回収奨励金の交付等を実施し、廃棄物減量を図る。
対象（誰、何を）	町民
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	再利用を心がけた生活と再資源化を意識した適正なごみ分別が日常となる。
成果の考え方	循環型社会を実現することは、廃棄物の適正排出への考え方が浸透し、排出廃棄物量に変化が現れているかを成果として捉え、Ａの指標を設定する。 循環資源を分別することは、資源の循環的な利用が促進されることであり、資源物の回収量に変化が現れているかを成果として捉え、Ｂの指標を設定する。

【成果指標】		単位
A	生活系一般廃棄物(環境センター搬入量)排出量	t
B	資源物回収量	t

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	3,959	4,461	4,602	3,919	4,377
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	3,959	4,461	4,602	3,919	4,377

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	4,539	4,277	4,028	3,792	3,662
	4,351	4,356	4,073	3,971	3,888
B	590	577	563	550	532
	879	860	750	709	692

（3）活動実績及び成果

活動実績	・スポーツ用品リユース展示場を設置し、リサイクルによる資源の循環利用とごみの減量化を図った。持込量356点(233㎏)、持出量314点(203㎏) ・生ごみ処理機等購入費補助金を交付した。27件、474,800円を交付した。 ・ごみステーションに係る設置費補助金を交付した。２件、199,000円を交付した。 ・ごみの分別方法の周知や出前講座の実施、排出量等の情報提供により、町民のごみ減量化に対する意識の醸成を図った。
成果	・広報紙やホームページでの情報発信及び各種補助金の交付により、町民のごみ分別・減量に対する行動意識が高まってきている。その結果、生活系一般廃棄物排出量(環境センター搬入量)は3,888tとなり、前年比で83t減少（前年比98%）となった。

3．最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） 食品ロスの削減や生ごみの減量化、燃やせるごみの分別の徹底、資源物のリサイクルによる資源の循環利用を促進し、廃棄物の減量を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） 周知方法の工夫など効率的かつ有効的な取組を行っていく。
今後の方向性	生産性改善	（理由） 廃棄物の分別の徹底や減量化、リサイクルの推進による資源の循環利用により、廃棄物処理に係るコストの縮減や環境負荷の低減に努める。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	廃棄物処分事業					事業通番	5430
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--
	施策No.	1-1	施策名	自然・生活環境の保全		担当課名	町民税務課
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	塵芥処理費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 会津美里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例
事務事業の概要	家庭から排出された適正廃棄物を各ごみステーションから収集し、中間処理施設へ運搬し適正に処理することで公衆衛生の維持を図る。 【主な取組】令和７年度は、生活系一般廃棄物の収集運搬業務を委託するとともに、中間処理施設等の運営経費を負担する。
対象（誰、何を）	町民 事業者
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	家庭や事業所から発生する一般廃棄物を適正に処理できる。
成果の考え方	対象・意図に対しては、ごみの減量を実現することは、廃棄物の適正排出への考え方が浸透し、排出廃棄物量(可燃と不燃)に変化が現れているかを成果として捉え、Ａの指標を設定する

【成果指標】		単位
A	年間の町からのごみ排出量	t
B	-	-

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	262,712	250,943	273,302	286,251	292,271
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	11,492	16,674	13,474	14,143	18,620
一般財源	251,220	234,269	259,828	272,108	273,651

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	5,830	5,517	5,219	4,936	4,795
	5,614	5,797	5,417	5,181	5,088
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

（3）活動実績及び成果

活動実績	・家庭から排出される廃棄物の収集運搬(可燃ごみ205日、不燃ごみ150日、プラ製容器包装150日、粗大ごみ18日、資源物（容器包装）129日、資源物(古紙類)103日)を行った。 ・令和8年度からの蓄電池及び水銀使用製品の回収に向け、回収方法の決定及び周知、専用回収容器を配備した。
成果	・生活系一般廃棄物の収集運搬業務により、家庭から排出される一般廃棄物を収集運搬し、中間処理施設等において適正に処分することで、生活環境の保全及び公衆衛生の維持が図られた。

3．最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） 一般廃棄物の適正排出を推進するとともに、確実な収集運搬を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） 効率的な収集運搬ルートの見直しや作業の合理化・効率化を図り、コストの縮減を目指す。
今後の方向性	生産性改善	（理由） 廃棄物の選別収集による適正排出の推進と効率的な収集運搬によるコストの縮減を目指し、確実な収集運搬を推進する。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	生活環境保全事業					事業通番	16742
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--
	施策No.	1-1	施策名	自然・生活環境の保全		担当課名	町民税務課
予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		担当係名	生活環境係
	項	保健衛生費	目	環境衛生費		重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	―
事務事業の概要	住宅環境で発生する病害虫の被害蔓延防止など、公衆衛生の向上と良好な生活環境の保全を図る。 令和7年度は、各自治区で実施する防除活動に対して防除機器の貸出し及び町民への高枝切りばさみの貸出しによる支援を行い、病害虫の被害蔓延を防止する。蛭ヶ窪墓地では松くい虫による支障木の撤去等を実施し、墓地内の環境整備を図る。また、地球温暖化対策を計画的に進めていくため「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に取り組む。
対象（誰、何を）	町民
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	良好な環境において安心して快適な生活が送れる。
成果の考え方	対象・意図に対しては、事業の取組の結果、生活環境の保全が進み、環境に気をつかう意識に変化が表れているかを成果として捉え、Ａの指標を設定する。

【成果指標】		単位
A	2・3年前と比べて自然環境が良くなっていると感じている町民の割合	%
B	-	-

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	835	440	12,240	13,497	1,600
国庫支出金			9,000		
県支出金	40	40	40	40	40
地方債					
その他				8,000	
一般財源	795	400	3,200	5,457	1,560

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	60.5	60.7	60.8	60.9	61.1
	59.1	57.6	62.1	56	56.3
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

（3）活動実績及び成果

活動実績	・自治区内の病害虫被害蔓延防止のため、防除機及び高枝切ばさみの貸出を行った。（防除機：38自治区、高枝切りばさみ：1件） ・自動車交通騒音の実態を把握するため、11月26日、12月1日に２箇所で騒音調査を実施した。 ・地球温暖化対策実行計画策定委員会等を開催し、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定した。 ・ＢtoＢ協定により、ペットボトルの水平リサイクルに取り組んだ。
成果	・防除機の貸出しにより自治区での病害虫防除が実施され、被害の発生抑制が図られた。 ・自動車交通騒音調査では、町道11008号線：昼間63.2dB夜間64.4dB、国道401号線：昼間59.4dB夜間60.8ｄＢとなり、全ての地点で交通規制等要請限度内であった。 ・約51ｔのペットボトルが水平リサイクルされた。

3．最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） 公衆衛生の向上と良好な生活環境を維持する。併せて、脱炭素社会の実現に向け、環境保全意識の向上と省エネ・再エネの普及促進を推進する。
コストの方向性	拡大	（理由） 町民の省エネルギー製品の購入、再生可能エネルギーの導入等、町民の地球温暖化対策の取り組みを支援する。
今後の方向性	有効性改善	（理由） 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、関係機関、関係課が連携しながらそれぞれの分野での地球温暖化対策を推進し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めて行く。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	狂犬病及び犬猫等処理事業					事業通番	16790
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--
	施策No.	1-1	施策名	自然・生活環境の保全		担当課名	町民税務課
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	保健衛生費		目	予防費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	狂犬病予防法 会津美里町狂犬病予防法施行細則
事務事業の概要	畜犬の登録及び福島県獣医師会と協同の狂犬病予防集合注射を実施する。
対象（誰、何を）	犬の飼い主
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	畜犬登録制度による手続きを行い、毎年、狂犬病予防接種を受けさせる。
成果の考え方	対象・意図に対しては、適正飼養の普及取組の結果、動物愛護による思想が推進されることで狂犬病予防注射の接種率の向上が表れているかを成果として捉え、Ａの指標を設定する

【成果指標】		単位
A	狂犬病予防注射接種率	%
B	-	-

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	528	458	485	538	657
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	390	377	342	378	385
一般財源	138	81	143	160	272

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	100	100	100	100	100
	81.8	81.3	80.8	82.2	76.9
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

（3）活動実績及び成果

活動実績	・狂犬病予防集合注射を５会場で実施した。 ・町広報紙により予防注射接種の制度周知、飼育マナーの啓発を行った。（6月号：散歩中のマナー、８月号：予防注射未接種、１月号：適正飼育） ・狂犬病予防注射未接種犬の飼い主へ接種勧奨を行った。（通知日：8月19日） ・犬猫等死体処理を実施した。（62件）
成果	・70%以上の犬にワクチンが接種されれば、一般的に感染拡大を効果的に防ぐことができるとされており、今年度の本町の接種率はそれを上回る76.9%となった。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 狂犬病予防注射の接種率90%以上を目指す。
コストの方向性	現状維持	（理由） 畜犬鑑札及び注射済票の制作費用など最小限の費用とする。
今後の方向性	現状維持	（理由） 狂犬病予防注射の接種率90%以上を目指し、飼主への指導、広報紙やＨＰ等による周知・啓発に努める。